

平成27年度決算特別委員会を  
設置

(市長提案の説明要旨)

平成27年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月11日から4日間開催され、いずれの議案も認定すべきものと決しました。今後、12月定例会初日に委員長報告が行われ、その後採決される予定です。

【一般会計】

歳入総額6百27億3千2百33万円、歳出総額6百15億5千33万円、実質収支は11億7千3百39万円となりました。

歳入では、市財政の根幹をなす市税が、個人市民税は増となりましたが、法人市民税や都市計画税が減となり、5年ぶりに前年度を下回りました。

歳出では、防災行政無線の整備、特別緑地保全地区の用地購入、認可保育園の施設整備費等の補助、前立腺がん検診の実施、小平第三小学校拡張用地の購入、小平都市計画道路3・4・23号線の整備、小平市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略のほか、公共施設マネジメント基本方針の策定など、小平市第三次長期総合計画に沿った事業を実施しました。

財政力の強さを示す財政力指数や、財政構造の弾力性を示す経常収支比率等の各種財政指標では、一部に改善傾向が見られるものの、歳入では、市税収入が5年ぶりに前年度を下回った

ほか、歳出では、依然として民生費を中心とした支出の増加が続いており、市財政は指標に見られるほど上向いてはおらず、難しい財政運営となっています。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入総額2百6億7千7百91万円、歳出総額2百3億5千6百12万円となりました。

歳入では、国民健康保険税が前年度に比べ3・6%、1億3千3百96万円の減となり、一般会計繰入金は27億円を繰り入れました。

歳出では、保険給付費が前年度に比べ0・6%、7千76万円の増となりました。

その他、保険財政共同安定化事業の拡充により、歳入の共同事業交付金、歳出の共同事業拠出金とともに大幅増となったことと、歳入歳出全体の規模が拡大しました。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入総額38億3千65万円、歳出総額37億9千72万円、実質収支は3千9百93万円となりました。

歳入では、被保険者数の増などにより保険料が前年度に比べ46万円の増となり、歳出では、広域連合納付金が前年度に比べ5千2百47万円の増となりました。

なお、後期高齢者医療制度の小平市の対象者は約2万5百50人です。

【介護保険事業特別会計】

歳入総額百18億1千7百8万円、歳出総額百16億4千5百35万円、実質収支は1億7千72万円となりました。

第1号被保険者数は4万2千

7百53人、要介護、要支援の認定者数は7千9百54人となり、ともに前年度より増加しました。第1号被保険者数はほぼ計画値に沿った増加となっていますが、認定者数は後期高齢者数の増等により、被保険者数よりも増加率が高い傾向にあります。

歳入では、介護保険料等の増により前年度に比べ3・4%の増となり、歳出では、9割以上を占める保険給付費が3・4%の増となりました。

【下水道事業特別会計】

歳入総額39億4千6百56万円、歳出総額36億6千2百40万円、実質収支は2億8千4百16万円となりました。

下水道長寿命化基本構想に基づき、下水道管渠調査を実施するとともに、その結果に基づいた改築・修繕工事の計画を立てました。また、下水道総合地震対策計画に基づき、引き続きマンホールトイレを設置するなど計画的に進めています。

◎委員長 ○副委員長  
◎佐野 郁夫 ○滝口 幸一

◎一般会計決算特別委員会

◎山岸真知子 吉本ゆうすけ  
◎幸田 昌之 ○吉瀬恵美子  
◎浅倉 成樹 石毛航太郎  
◎磯山 亮 伊藤 央  
◎小野 高一 小林 洋子  
◎佐藤 充 竹井ようこ  
◎津本 裕子 永田 政弘  
◎平野ひろみ

政務活動費収支報告

平成27年度(5月分以降※)の政務活動費について、その収支を報告します。

※平成27年5月に議員の改選が行われたため、改選後の議員任期における平成27年5月分以降について報告します。

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項から第16項まで及び小平市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。

会派の所属議員数に応じ、1人当たり月額3万円をかけた金額がその年度に交付されます。交付を受けた会派には、年度終了後に政務活動費収支報告書を提出することが義務づけられています。

平成27年度(改選後5月分以降) 会派別収支状況

単位:円

経費項目	説明	会派名・人数(平成28年3月31日現在)						合計
		政和会 8人	市議会 公明党 6人	フォーラム 小平 6人	日本共産党 小平市議団 4人	生活者 ネットワーク 3人	緑の党 こだいら 1人	
交付決定額(A)		2,640,000	1,980,000	1,980,000	1,320,000	990,000	330,000	9,240,000
調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	1,106,213	0	797,176	128,399	240,530	0	2,272,318
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費	30,000	1,210,916	99,942	315,277	67,268	11,010	1,734,413
広報費	会派が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費	90,707	396,239	940,032	605,448	273,132	221,488	2,527,046
広聴費	会派が行う市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費	1,078,156	0	0	0	21,750	0	1,099,906
要請及び陳情活動費	会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費	0	0	0	0	0	0	0
会議費	会派が行う各種会議を開催するために必要な経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費	74,885	50,871	23,316	44,807	0	0	193,879
資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	49,788	90,611	99,209	152,207	209,921	99,021	700,757
人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費	0	0	0	0	0	0	0
支出合計(B)		2,429,749	1,748,637	1,959,675	1,246,138	812,601	331,519	8,528,319
返還額(A-B)		210,251	231,363	20,325	73,862	177,399	0	713,200

各会派の収支報告書や領収書等を平成25年度分からホームページで公開しています。  
詳しくは小平市議会のホームページ(<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>)をごらんください。